

厚生労働省職業安定局の取組について 説明資料

平成23年1月31日

平成23年度予定額 96 (95) 百万円

キャリア探索プログラム

- ハローワークにおいて、企業で働く者などを講師として中学校や高校等に派遣し、職業や産業の実態、働くことの意義、職業生活等に関して生徒に理解させ、自ら考えさせる「キャリア探索プログラム」を実施。

〔テーマの例〕

- ・仕事の実態(仕事の内容、やりがい・苦勞する点、将来の展望、労働条件等)
- ・新卒者の労働市場、雇用情勢と今後の展望
- ・企業が求める人材像
- ・就職に向けての心構え
- ・適職選択のポイント など



キャリア探索プログラムの風景

実績

〔平成21年度〕

- 実施校数:3,740校
- 実施回数:3,842回
- 参加者数:333,376人

ジュニア・インターンシップ

- 主として高校生を対象に、在学中に生徒が就業体験を通じて、自らの適性と職業の関わりを深く考える契機とする「ジュニア・インターンシップ」を実施。

日程例	内容例
事前講習(半日)	・実習に当たっての心構え、留意点(守秘義務、事故防止、ビジネスマナー等) ・地域の産業や職業の状況
就業体験実習(3日)	・オリエンテーション(会社・業務の概要、職場のルール、留意事項等) ・業務の基本的指導、事業所での実習
事後講習(半日)	・実習報告、感想・反省点の振り返り 等



花屋での就業体験の風景

実績

〔平成21年度実績〕

- 実施校数:758校
- 事業所数:19,863社
- 参加生徒数:43,356人

高校生に対する就職ガイダンス

平成23年度予定額 469 (451) 百万円

- 就職を希望する新規高校卒業予定者等を対象に、地域の労働市場の状況や就職活動の進め方等を説明するほか、就職後に必要となる労働関係法令の基礎知識、正社員とフリーターとの働き方・賃金の違い等の情報を正確に提供することによって、円滑な就職活動を促進し、若年者の早期離職や、安易にフリーター・ニート化することを防止。

〔ガイダンスの内容例〕

- ・ 地域の労働市場に関すること
- ・ 就職活動の進め方、面接等への対応策、社会人としての基礎的素養の向上
- ・ 労働関係法令の基礎知識
- ・ 正社員とフリーターの働き方、生涯賃金等の違い
- ・ 万一離職して就職活動を行う場合の支援窓口 など

実績

〔平成21年度実績〕

○ 実施回数：811回

○ 実施校数：1,186校

○ 参加者数：36,995人

地元企業の高校内企業説明会

平成23年度予定額 34 (0) 百万円

- 高校生に対する地元企業への理解促進を図り、地域における就職促進につながるよう、高校内において、複数の地元企業の担当者から地域の産業や地元企業の実態等について話を聞く場を設けることにより、生徒の職業意識形成支援を実施。〈平成22年度は一部の労働局において試行実施〉

〔企業の説明内容等〕

- ・ 企業概要、業務内容、製品、企業の魅力等
- ・ 高校生が入社した場合のキャリアパス
- ・ 地域の産業や企業の特徴
- ・ 働く意義等職業意識形成に資すること など